

シー・エス  
**C・S みやいけ**

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



学習発表会

**みんなで いっしょに！**

**～その1～ 台風19号災害支援募金活動**

「台風19号で、たいへんな被害にあわれた人たちのために、私たち宮小児童と地域の人たちと、みんなでいっしょに募金活動に取り組みましょう！」

これは、10月24日(木)に行った児童会と学校運営協議会との懇談会の折に、児童会役員から提案されたことです。この呼び掛けにみんなが賛同し、11月9日(土)の学習発表会の開催に合わせて、宮池小応援団やPTAの皆さんなどの協力で募金活動が行われました。

保護者や地域の皆様など、たくさんの皆様の温かいご協力で、**95,443円**もの義援金が集まりました。この義援金は、11月14日(木)、児童会役員が、被災地の一日も早い復興を願う思いを込めて半田市役所へ届けました。半田市教育長さんや福祉部長さんたちから、心温まる感謝の言葉をいただきました。この様子は、「半田市報」で紹介されるそうです。

子どもたちの提案が、学校と家庭と地域のつながりで実現できたことをとてもうれしく思うとともに、コミュニティ・スクール制度が少しずつ定着しつつあるように感じました。

ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



成岩中の生徒さんも応援してくれました



半田市役所へ届けました

## ～その2～ あいさつごんごん運動

11月12日(火)、子どもたちとPTA、宮池小応援団、先生たち、みんなでいっしょにあいさつごんごん運動を行いました。

半田市では、毎月10日を「あいさつごんごん運動」の日と決め、市内全小中学校で取り組んでいます。中学校では、この日は朝部活を行わず、学校周辺の歩道や駅などで、出勤の大人や通学の高校生、大学生たちへも「おはようございます」と声をかけ、街頭にあいさつの声があふれます。

宮池小でも、当番の高学年の子たちの大きな「おはようございます」に、低学年の子たちも、笑顔で「おはようございます」と返していました。



あいさつごんごん運動

## CSサロン除草作業



中庭の除草作業

「あいさつごんごん運動」を終え、子どもたちの学校生活が始まった時刻から、中庭の除草作業を行いました。教室から聞こえてくる子どもたちの元気な声を耳にしながらの作業は楽しいものです。

子どもたちの学校生活が、少しでも快適な環境になったらうれしいなと思いつつ、学校運営協議会として、ささやかな活動を続けていきます。

## 学区の区民展に、宮小から出展！

前号で協和区の区民展の様子を紹介しました。続いて、成岩四区と西成岩区の区民展でも、宮小の子どもたちの作品が目を引きました。



成岩四区の区民展



西成岩区の区民展

## 特集：コミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)導入への道のり！

あいさつ運動に関わって、以前、こんなお話を聞いたことがあります。

### ＜第4号＞ 学校運営協議会（地域）が担う役割

「ぼく！早よ帰りゃー。」

「うん、分かった。おばちゃん！」

近所のおばちゃんが、コンビニの前でたむろする中学生の一人に声をかけていた。おばちゃんに「ぼく」と呼ばれた子は、数年前から顔見知りだった。地域の子ども会で「餅つき」があった時、「ぼく、こっちへおいで。おもちの作り方教えてあげるから。」以来、道で会った時も、ニコッと笑顔を返してくれる関係になった。昔は、こんな光景は当たり前に見られた。

かどのたばこ屋さんのおばちゃんは、いつも店先に座っていた。おばちゃんは、子どもたちにとっては「関所」だった。学校からの帰り道でも、

「今、帰りか？ 今日遅かったねえ。」

「はい、ただいまあー。」

と、毎日あいさつをして関所を通過した。今、たば

こは自動販売機に替わった。自動販売機はあいさつをしてくれない。子どもたちは無言で通り過ぎていく。

コンビニの前でたむろする中学生に声をかけるのも勇気がある。うっかり声をかけると何をされるか分からないという恐怖心さえ抱く。地域が無言になってきた。無言の地域に「あいさつ」を復活することである。あいさつは、知らない人にはしにくい。知らない大人と知らない子どもという匿名どうしでは、沈黙の世界になる。

「地域の教育力」と言われるが、難しい理屈はいらない。匿名の子どもをなくすことだ。近所の大人と子どもが顔見知りになり、あいさつを交わせるつながりをつくることだ。つながる機会を工夫してつくろう。子どもたちと大人と一緒に集える機会をみんなでつくりたい。元気なあいさつが飛び交う町、地域の教育力はそこから始まる。子どもたちに責任はない。無言の地域をつくり出したのは大人たちである。「最近の子どもは……」とぼやく前に、大人たちがあいさつし合う地域をつくることではないか。



まちのおばちゃん

のぐちかつみ

平成24年度半田市教育講演会にて(故 野口克海氏 元園田女子学園教授)

